

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 24 年度第 6 回情報教育研究委員会情報専門教育分科会 議事記録

I. 日 時：平成 24 年 9 月 15 日(土)午後 4 時～午後 6 時

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 参加者：大原主査、松浦委員、渡辺委員、西村委員、斎藤ア`バ`イ`

事務局：井端事務局長、森下主幹、野本

IV. 検討事項

1. 情報コンテンツ・サービス系教育における学士力の考察について

- ・ 対象とする情報コンテンツ・サービスについて、ビデオゲーム、マンガ、アニメなどを入れていたが Web デザインとしてはどうかの意見がありまとめることにした。マーケットサイズや雇用など必要ではないか、アニメなどは文化のイノベーションでビジネスのイノベーションが必要ではないか。
- ・ 人材育成について記述を追加し、文・社会科学、自然科学の観点に立って人々の生活や社会に新たな価値や変化をもたらすことのできる人材の育成を目指すとした。
- ・ 専門レベルの設定にイノベーションを入れていたが、グローバルな視点を追加した。
- ・ 到達目標 4 で、情報コンテンツ・イノベーションとしていたが、限定しないでイノベーションとした。

2. 情報通信系教育における学士力の考察について

- ・ 情報通信の使命を安全・安心で豊かな社会の構築と運用を入れて、グローバルな規模でイノベーションを起こす役割を果たしているとした。
- ・ 地球規模から個人に関わるものまで、多様な角度で考えられることから、情報通信技術は、国家の存亡に関わる重要な基盤技術の表現を入れた。
- ・ 社会の発展や革新、人の相互依存や価値観共有などを考慮して、社会・経済・経営・環境などを複合的な観点から関連づけ、人々の生活を豊かにする新しい情報通信システムを活用・創造できる人材の育成を目指すことにした。
- ・ 一般レベルの設定は、情報通信系の基礎知識を当該専門領域で活用できるとしていたが、仕組みの理解と自分の専門分野で利活用できるようにした。
- ・ 専門レベルの設定では、情報設計を情報デザインに表現を変更した。

3. 情報通信系教育における到達目標の解説について

- ・ 到達目標 1 では、情報空間を読み取って実社会に反映させる説明を考慮して、社会における様々な情報通信システムの形を俯瞰、情報通信システムの効果を入れて、情報通信システムの構造、構成要素などに関する知識と基本的な技術の獲得を目指すとした。
- ・ 到達目標 2 では、問題発見・解決に向けツールを図るため、観察力、分析力、論理的思考力を鍛える、特性のモデル化、正当性の検証とした。
- ・ 到達目標 3 では、システムのライフサイクルの理解のため、企業や社会活動の特性分析、情報通信システムがもたらす価値と実現までのプロセスの修得、情報通信システムの要求定義から実装、運用保守までの工程に関する知識・技術の獲得を目指すことにした。
- ・ 到達目標 4 では、豊かな社会の実現を目指し、情報通信システムの役割を考案、要求される要件、構成要素や機能を導き出せる技術の獲得と責任を持って取り組めることを目指すことにした。

V. 今後の予定

- ・ 教育改善モデルの授業の仕組み、またはシナリオについての概念図を委員で分担して作成し、Net で検討することにした。